

20260220

第4回柔道マガジン杯 全国中学生柔道大会

【大会要項】

公益財団法人 全日本柔道連盟
一般社団法人 スポーツひのまるキッズ協会

1 大会趣旨

異なる地域の中学生との交流や多くの強豪選手との試合を通して、柔道を学ぶ生徒に夢を与え、逞しく生き抜く力を身に付けさせるとともに、競技力の向上と柔道界の普及、振興を目的とする。

2 大会名称

第4回柔道マガジン杯全国中学生柔道大会

3 大会会場

横浜武道館（〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2丁目9-10）

4 大会日程

2026年3月20日（金・祝）～21日（土）

5 主催

公益財団法人全日本柔道連盟／一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

6 後援（予定）

公益財団法人講道館／公益財団法人日本中学校体育連盟／神奈川県／横浜市／神奈川県スポーツ協会
／横浜市スポーツ協会

7 主管

神奈川県柔道連盟

8 スケジュール

【2026年3月20日（金・祝）】計量・予選リーグ

07:30 選手・観客入館 ※開館前に並ぶことを禁止とする

08:00 選手・監督（受付）

非公式計量（09:00 終了予定）

08:30 監督会議（09:00 終了予定）

公式計量（10:00 終了予定）

09:30 審判会議（10:00 終了予定）

10:30 開会式

試合開始（17:00 終了予定）

【2026年3月21日（土）】1部・2部・3部トーナメント

07:30 選手・監督入館 ※開館前に並ぶことを禁止とする

08:30 審判会議（08:45 終了予定）

09:00 試合開始（~~16:00~~→16:30 終了予定）

~~16:00~~→16:30 閉会式・表彰式（~~16:30~~→17:00 終了予定）

9 参加資格

(1) 出場するチームは全日本柔道連盟に 2025 年度の団体登録をしていること。

(2) 選手は全日本柔道連盟に 2025 年度の競技者登録をしており、大会当日に同一中学校（またはチーム）に所属する 1、2 年生であること。

※同一チームからの複数チームの出場は認める。

その場合は、チーム名の最後にアルファベットを割り当てる（例；ひのまる柔道中学校 A、ひのまる柔道中学校 B）定員を超えた場合、抽選とする。抽選の場合は A チームのみを抽選の対象とする。

※単一チームを編成できない場合は、合同チームで出場できる。ただし、原則として隣接する市区町村内で 2 校（またはチーム）の合同チームであること。（主催者が協議の上、決定する）合同チームのチーム名は 2 チームの名称を入れること。

例 オープンの部 1 チーム 2 名以下が 2 チーム合同

女子の部 1 チーム 1 名が 2 チーム合同

※外国人学校の出場も可能とする（海外チームの招聘については予定していないが、自費での参加については可能とする。海外チームの参加資格は主催者が協議のうえ決定する）

(3) 原則として、2 日間すべての大会日程に参加できること。

②参加した場合に守るべき条件

(ア) 大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 参加に際して、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

③参加を認めない場合

(ア) 参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

・柔道修業期間を 6 カ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。

10 監督、コーチおよび引率者

- ・監督、コーチは、全柔連公認指導者資格を有し、今年度の全柔連登録を完了した者とする。
- ・上記の場合の監督・コーチは、資格のあるものであれば当該チーム所属でなくても可とする。
- ・単独チームで複数チーム出場する場合は、当該チームに限り監督、コーチの兼務を認める。

11 計量

日時／3 月 20 日（金・祝）8:30～10:00 ※非公式計量は 8:00～8:30 に行う。

会場／武道場（予定）

※計量を終了したチームから集合写真撮影を行う。

12 チーム編成

【オープンの部】

・1チームの人員は監督1名、コーチ1名、選手8名（補欠3名を含む）とする。

選手は最低3名とし、監督不在のチームは出場を認めない。

※単一チームを編成できない場合は、合同チームで出場できる。ただし、原則として隣接する市区町村内で2校の合同チームであること。（主催者が協議の上、決定する）合同チームのチーム名は2チームの名称を入れること。

例 オープンの部 1チーム2名以下が2チーム合同

・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする。（選手が5名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとする）

・選手編成は、先鋒・次鋒=66kg以下、中堅=81kg以下、副将・大将=体重無差別とする。

先	鋒	<	次	鋒	<	中	堅	<	副	将	<	大	将
	↓					↓			↓				
	-66kg					-81kg			無差別				

・女子選手の参加を認めるが、その選手は女子の部との二重登録はできない。

【女子の部】

・1チームの人員は監督1名、コーチ1名、選手5名（補欠2名を含む）とする。

選手は最低2名とし、監督不在のチームは出場を認めない。

※単一チームを編成できない場合は、合同チームで出場できる。ただし、原則として隣接する市区町村内で2校の合同チームであること。（主催者が協議の上、決定する）合同チームのチーム名は2チームの名称を入れること。

例 女子の部 1チーム1名が2チーム合同

・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が2名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとする）

・選手編成は、先鋒=52kg以下、中堅=63kg以下、大将=体重無差別とする

先	鋒	<	中	堅	<	大	将
	↓		↓			↓	
-52kg			-63kg			無差別	

13 選手変更

・怪我や病気により大会申し込み締め切り後に登録選手を変更する場合は、選手変更届を監督会議（20日（金・祝）8:30開始）までに受付に提出すること。

これ以外の登録選手変更は認めない。

- ・監督会議終了後の選手変更は、登録された補欠から行うこと。
- ・試合が始まってからの選手変更についても、試合に出場する順番は体重の軽い選手からとする。また、その場合も、先鋒・次鋒が-66 kg、中堅が-81 kg（女子は先鋒が-52 kg、中堅が-63 kg）であること
- ・一度退いた選手は、その後、再出場できない。
- ・複数チームで出場する学校において、出場登録したチーム間での選手の異動を伴う選手登録の変更は認めない。

14 審判規程

- ・国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」を適用する。
- ・試合時間は団体戦3分間とする。
- ・勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ・優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「有効」 > 「僅差」

15 試合方法

【オープンの部・女子の部】

- ・試合は1チーム5名（女子は3名）の点取り戦とする。
- ・大会初日に3または4チームずつに分けてリーグ戦を行い、大会最終日にリーグ戦各組1位のチームによる1部トーナメント戦、各組2位のチームによる2部トーナメント戦、各組3位と4位のチームによる3部トーナメント戦を行う。
- ・各組1位および2位は予め組まれたトーナメント表に従って大会最終日の試合を行う。
- ・各組3位および4位は予選リーグ終了後に抽選を行い大会最終日のトーナメント表を決定する。→**についても予め組まれたトーナメント表に従って大会最終日の試合を行う。**

【予選リーグにおけるチーム間の勝敗の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち数による。
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する。
- ウ) イ) において同等の時は、引き分けとする。

【予選リーグ内の順位の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの数による。
- イ) ア) において同等の時は、勝ち数の合計による。
- ウ) イ) において同等の時は、勝ちの内容により決定する。
- エ) ウ) において同等の時は、負け数の合計により決定する。

オ) エ) において同等の時は、負けの内容により決定する。

カ) オ) において同等の時は、引き分けに終わった対戦の中から抽選で1組を選んで代表戦とする。代表戦は最初からゴールデンスコア方式で行い、技による得点があった時点、または指導の数に差が出た時点で試合終了とする。

【1部・2部・3部 トーナメントの勝敗の決定方法】

ア) チーム間における勝ち数の数による。

イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する。

ウ) イ) において同等の時は、引き分けに終わった対戦の中から抽選で1組を選んで代表戦とする。代表戦は最初からゴールデンスコア方式で行い、技による得点があった時点、または指導の数に差が出た時点で試合終了とする。

<予選リーグ(カ)、1部・2部・3部 トーナメント(ウ)の場合>

例) 女子3人戦で、両チームともに中堅と大将しか選手がいない状態で、両チームが一本勝ちで1勝ずつ取り合いスコアが1-1で得点差がない場合、引き分け対戦から抽選で代表戦を選ぶことができない。

その場合は、試合をした中堅戦と大将戦から抽選で1組を選んで代表戦とする。代表戦は最初からゴールデンスコア方式で行い、技による得点があった時点、または指導の数に差が出た時点で試合終了とする。

16 柔道衣について

- ・(公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用すること。
(最新の公認柔道衣は全日本柔道連盟のホームページを参照のこと)
- ・柔道衣(上衣、下穿)のIJFラベルの外枠が赤いものか、「JU0000」と赤字で表示された全柔連認証番号ラベルのみ使用可とする。
- ・帯はIJFラベルの外枠が「赤」か「青」のものか、「JU0000」と赤字と黒字で表示された全柔連認証番号ラベルのみ使用可とする。
- ・競技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする。
- ・(公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- ・ゼッケン縫付け場所は後ろ襟から概ね5~10cm下部に位置する場所に縫付ける。また、対角線にも強い糸で縫付ける。
- ・ゼッケンを縫付けていない選手は出場出来ない。

17 表彰

【団体戦】

- ・1部決勝トーナメント各優勝チームには柔道マガジン杯、賞状、メダル(全員)を授与する。
- ・1部決勝トーナメント各2位および3位チームには、賞状、メダル(全員)を授与する。
- ・1部決勝トーナメントにおけるオープンの部10名、女子の部6名を、優秀選手としてトロフィーを

授与する。

- ・2部3部トーナメントは優勝チームのみ表彰を行い、賞状を授与する。

18 その他

(1) 対戦区分に必要な紅白帯（オープンの部・各5本、女子の部・各3本）を必ず持参のこと。

(2) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、医療機関において、迅速かつ的確な治療を行うこと。もし、皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、本大会への出場ができない場合もある。

(3) 新型コロナウイルス・新型インフルエンザに集団感染（2名以上）したチームは、他チームへの影響を考慮した対応をとること。

(4) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

（なお、至急専門医の精査をうけること）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④上記に該当する選手がいた場合、指導者は大会事務局に書面により事故報告書を提出すること。

19 参加費・募集チーム数（人数）

オープンの部：1チーム 5,500円（税込み）

女子の部：1チーム 3,300円（税込み）

本エントリー時に案内の方法にて速やかに支払うこと。

オープンの部：上限81チーム（予定）

女子の部：上限51チーム（予定）

※参加申し込みのチーム数が上限に達した場合は、大会事務局で抽選を行う。

20 申込方法・申込期間

要項19の上限チームに達した場合のため、今大会のエントリーは、

① 仮エントリー：2025年11月1日（土）～2025年11月25日（火）

↓選考・当落発表（12月5日（金）までに発表）

② 本エントリー：当落発表後～12月11日（木）の2段階により行う。

- ・仮エントリーで使用するシステムは大会ブログに掲載する。

※大会ブログ（<https://hinomaru-kids.jp/judo-m-cup4/>）内の大会要項をよく確認したうえで申し込むこと。

21 免責事項

・本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負いません。なお各校にて必ず公益財団法人全日本柔道連盟への選手登録、申請を行い、別途、スポーツ安全保険に加入していることを確認のうえ参加すること。

・指導者、保護者、同伴者についても、スポーツ安全保険に加入するか、または自己の責任において大会に参加すること。

・大会会場への往復中の事故・地震・風水害・降雪・事件については、主催者は一切責任を負いません。交通安全には十分注意のうえ、ゆとりを持って行動すること。また諸事情により大会が中止となった際の準備、移動などに関わる費用については、主催者は責任を負いません。

・主催者は、個人情報保護法令を厳守して参加者の個人情報を取り扱う。ただし、申込者は次のことを了承すること。

ア) 主催者もしくは委託先から申込み内容に関する確認連絡をすることがあること。

イ) 大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、関連情報の通知に利用することがあること。

・申込者は大会開催中の映像・写真・記事・記録・参加選手の氏名、年齢、住所（都道府県名、市町村名、所属団体名）等が大会パンフレット、大会記録集、新聞、雑誌等の印刷物及び、テレビ、インターネットへ使用されることを事前に承知すること。また掲載権と肖像権は主催者に属することも承知すること。

・申込み後の参加費は返金しない。過剰入金、重複入金の場合の超過分も返金しない。また、自然災害等で大会が止むを得ず中止になった場合も同様に返金しない。

・申込み手続きに関する手数料は各自で負担をすること。

・主催者は、上記の申込規約の他、各大会規約に則って開催する。

・参加エントリー、参加費の入金により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

22 お問い合わせ

柔道マガジン杯事務局（(一社) スポーツひのまるキッズ協会）

03-5747-9703（平日 9:30～17:00）

judo-m-cup@hinomaru-kids.jp